

研究代表者：高取充祥（山梨県立大学 看護学部）

【今後の展開 商品イメージ応用できる分野】

山梨県立大学ファーストエイドチームは健康イベントでの救護や一般市民に向けた一次救命処置（BLS）の普及などを行っています。いつでもお声がけ下さい。

## 0. YPU-FATとは

- ◆研究代表者は、2006年よりヴァンフォーレ甲府のホームゲーム時に開始された活動『世界一安全なスタジアムを目指して』に、2009年(山梨県立中央病院救命救急センターに配属と同時)より参加している。
- ◆『世界一安全なスタジアム』とは、**AEDがあっても実際に使用されていない**(先行研究にて3割以下)ことを鑑みて、AEDと初期診療セットをもち、**応急処置（ファーストエイド）ができる救護係**を各スタンドに配置する活動。
- ◆2026年で活動20年となるが、心肺停止案件は2件起きており、2件とも迅速な対応で**傷病者は社会復帰している**。
- ◆救護係は医療従事者または応急処置コース修了者としており、近年はマンパワーの不足が課題であった。2023年より、研究代表者（顧問）の指導の下、医療系の学生にも活動を広げたことから、山梨県立大学ファーストエイドチーム（YPU-FAT：Yamanashi Prefectural University First Aid Team）が誕生した。

## I. 研究の目的

山梨県主催のスポーツイベントやヴァンフォーレ甲府スタジアム救護に山梨県立大学看護学部生がファーストエイドチームとして参加する意義を明らかにする。

## II. 活動の実際

- ◆ヴァンフォーレ甲府スタジアム救護【小瀬スポーツ公園】（2023年度シーズン：参加者33人、1試合平均3人）  
（2024年度シーズン：参加者38人、1試合平均2人）（2025年度シーズン：参加者24人、\*現在シーズン中）



Topics02 **AEDボランティア/山梨県立大ファーストエイドチーム**   
長年スタジアムにてサポートいただいているAEDボランティアの皆さまには「FUJIFILM SUPER CUP」そして「AFCチャンピオンズリーグ」にも参加いただいております。  
また今シーズンからは山梨県立大学の学生団体「ファーストエイドチーム」の学生の皆さまも参加。学生の皆さまにも安心・安全なスタジアムづくりの一助として活動していただいております。

2023ホームタウンレポートに掲載

- ◆アジアチャンピオンズリーグスタジアム救護【国立競技場】（参加者23人、1試合平均6人）



- ◆国民体育大会救護（参加者3人） ◆やまなしパラスポーツセンター オープニングイベント救護（参加者6人）  
◆山梨県子育て支援事業、笛吹市子育て支援事業【心肺蘇生法・異物除去（講師補助）】（参加者8人）



## III. 今後の展望

- ◆学生へのインタビューでは、「活動に参加することで学生として社会貢献することができた」「活動を通して今後の看護師としての糧となった」「社会とつながることの大切さを実感した」「看護師として大切な応急手当が学べた。」「とにかく楽しかった」などの意見が得られた。活動を開始して3年となることから、調査研究を行い、意義を見出すことを予定している。